平成26年11月19日

清水町議会議長 加 来 良 明 様

清水町議会総務文教常任委員会
委員長 原 紀 夫

所 管 事 務 調 査 に つ い て

常任委員会活動として行う所管事務調査について、このたび調査を終えたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

1. 調査事項 指定管理者制度の活用について
2. 調査期日 平成26年11月13日
3. 調査先 芽室町、町内

4. 調査の結果

民間企業やNPO法人等に公の施設の管理運営を委ねることができる指定管理者制度について、芽室町を訪問し、「指定管理者の事業評価の取組みについて」視察研修を行い、その後、本町の「指定管理者制度の取組状況について」、担当課から説明を受けた。

【芽室町の指定管理者の事業評価の取組みについて】

芽室町では、平成 18 年度から指定管理者制度を導入しており、現在、めむろ駅前プラザ、芽室町国民宿舎等、芽室町中央公民館、社会体育施設等、めむろてつなん保育所の 5 施設で指定管理者による管理運営が行われている。

指定管理者制度の導入に伴い、平成 19 年に「芽室町公の施設に係る指定管理者評価委員会設置規則」を制定し、副町長、町課長職及び民間人有識者 2 人の合計 10 人で構成される評価委員会を組織して、指定管理者の事業評価、事業評価結果の町長報告、事業評価結果の公表を毎年行っており、めむろ駅前プラザ・芽室町国民宿舎等の状況について説明を受けた。

事業評価は、募集時に指定管理者から提出される「事業計画事項」及び選定時における「選定審査評価事項」に対して、指定管理者から毎年度終了後に提出される「事業報告書」と、町所管課が記載する「評価年度分の事業状況」をもとに評価委員会で協議を行い、個別事項の点数評価と総合評価をもって評価が実施されている。

個別事項評価の考え方は、「公の施設の認識、法令順守」「安全・衛生管理、防災・災害対策、施設整備・清掃」「サービスの具体的向上策」「地域住民・利用者意見の反映」など、10 数項目に及ぶ評価区分毎に 10 点・8 点・7 点・5 点・3 点の 5 段階で評価点を付し、総合評価の考え方は、個別事項評価の合計評価点を 100 点満点に置き換えて、85 点以上は A 評価、75～84 点は B 評価、70～74 点は C 評価、65～69 点は D 評価、64 点以下は E 評価とする方法で、適切（良好）な状況に対しては個別事項評価で 7 点が付され、町が求める通常管理の範囲は 70% を基準に設定されている。

評価結果は、町所管課を通じて指定管理者へ通知され、改善指導などにつなげられ、町議会へも報告があり、次期の指定管理者の指定に際しても重要な資料となっており、制度本来の目的である住民サービスの向上につながる取組みとなっている。

【本町の指定管理者制度の取組状況について】

本町での指定管理者制度の導入は、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることを目的として、平成17年に「指定管理者制度の導入に関する方針」を策定、平成18年に「清水町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例」を制定し、平成19年4月からアイスアリーナと御影パークゴルフ場で指定管理が開始された。その後、本年4月から町体育館、農業研修会館、町民野球場、体育館前パークゴルフ場、町民水泳プール、柔道場、有明公園多目的広場の7施設で指定管理者制度が導入されており、専門性を持った民間事業者に効率的な運営を委ねているところである。

現状、新たな指定管理者制度導入の予定はないが、指定管理者の相手先があれば検討を行わなければならない、町職員の異動等にも配慮が必要であり、また、指定管理者制度の導入に関する方針において、「町営育成牧場は当面は直営とするが、牧場経営の推移をみながら指定管理者制度の導入により更にコスト削減とサービス向上を図る必要がある」とされており、指定管理者の相手先として十勝清水町農業協同組合が最も現実的と考え、何度か水面下で打診をしたが、決断いただけない状況で、今後、施設整備を進める中で、更に検討を行うとのことであった。

指定管理者に対する事業評価については、以前、試行的に実施したが、現在は実施していない状況で、今後、どのような評価がいいのか検討するとしており、各委員からは、指定管理者に管理運営を任せるだけでなく、利用者の声を反映させ、更に住民サービスの向上と経費の節減を図るためにも、事業評価は必ず実施する必要があるとの意見が出された。